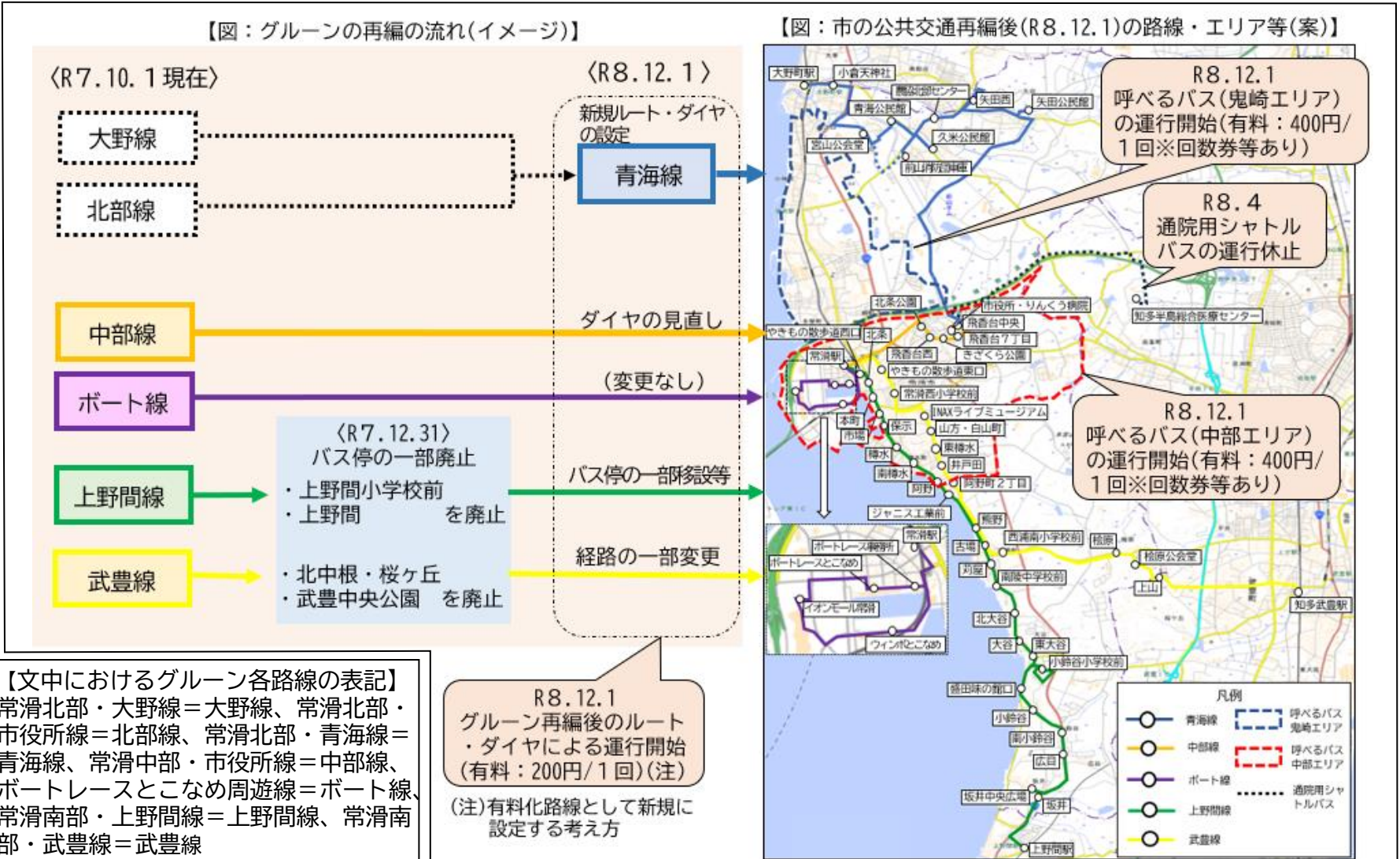


1 市の公共交通再編の全体像

10月27日の市議会協議会で説明し、11月6日の市地域公共交通協議会(以下「市交通協議会」という。)で協議のうえ承認された市の公共交通再編の全体像は以下のとおりである。

【市の公共交通再編の全体像(R7.10.27市議会協議会資料より抜粋)】



【グルーン】 運賃案の検討状況

【グルーン運賃有料化の理由等】

他自治体のコミュニティバスと比較して充実している
(利便性が高い)

知多5市の中で

- ・1日当たりの便数が最も多い
 - ・便と便の時間間隔が最も短い
- ※それぞれ知多4市の平均値との比較

他自治体より運行経費が多くかかっており、物価高騰等により今後増大見込み

グルーンを利用し
たくてもできない

路線(バス停)がない地域住民の
意見(「市長への手紙」等より)

路線(バス停)がないのは
不公平に感じる(路線(バス
停)を設置してほしい)
※多くの投書等がある

限られた地域で無料走行
するのではなく、有料で
よいので市民全体の利便
性が高くなると嬉しい

コスト上昇も踏まえた持続可能性が求められる

公平性確保の観点から受益者負担が求められる

有料化について検討

アンケート結果に基づき
PSM分析により、許容値を
算出し、最も安くわかりや
すい価格に設定。

R7. 10. 27市議会協議会時に説明した運賃設定(案)

200円/1回

(割引(未就学児、障がい者以外)、定期券、回数券なし)

割引等をしない理由

- ①もともとの運賃(案)が安い
- ②公平性の確保
- ③財政負担の増大を防ぐ
- ④制度運用上の課題の回避



R7. 11. 5に市議会(注)から市長へ要望書が提出された

(注)常滑市議会

【要望事項：「グルーン運行に関し一部市民への負担軽減を求める要望書」より抜粋】

常滑市議会

常任委員会

公明党議員団

新政あいちとこなめ

- ・18歳以下は、無料となるよう検討を進めること
- ・定期券、回数券の導入を検討すること
- ・(知多半島りんくう)病院への乗り継ぎ者に対し、乗り継ぎ券などの発行を検討すること

要望書を受けて負担軽減策を検討(検討結果は次ページへ)

運賃案の検討状況(つづき)

【市議会 常翔会等からの要望事項】

18歳以下を無料

定期券の発行

回数券の発行

病院^(注1)利用者への
乗り継ぎ券の発行
(注1)知多半島りんくう病院のこと

【想定案】

18歳以下への無料券を
発行
⇒無料で利用可となる

【想定案】

1か月6,000円の定期
券を発行
⇒往復15日分で1か月
間利用可となる

【想定案】

1冊2,000円(200円券11
枚綴り)の回数券を発行
⇒1回当たり180円で利
用可となる

【想定案】

病院利用者へ他路線から中
部線への乗り継ぎ券を発行
⇒片道200円で利用可となる
(通常：200円×2=400円)

【実施した場合
に生じる課題】

課題1：財政負担の増大

運賃収入が減少し、財政
負担が増大(持続可能性が
減少)する恐れがある

課題2：不公平感が残る

路線(バス停)がない(グルー
ンを利用したくてもしづらい)
地域の住民にとって不公平
感が残る恐れがある

「鉄道＋グリーン利用者」の
不公平感が残る恐れがある
(「鉄道＋グリーンの利用」⇒片道
380円～450円)

課題3：運転手の負担増等

車中での券発行や確認を行
う運転手の負担増、バスの
遅延につながる恐れがある

こうした課題はあるが、以下について配慮が必要

若年層の通学等
定期的な利用者

通勤者・高齢者等の
定期的な利用者

路線を乗り継いでの
定期的な利用者

乗り放題定期券(全路線共通の定期券)

(金額：1か月6,000円、3か月18,000円、6か月36,000円)

を設定することとした。

2 グルーン運賃の検討

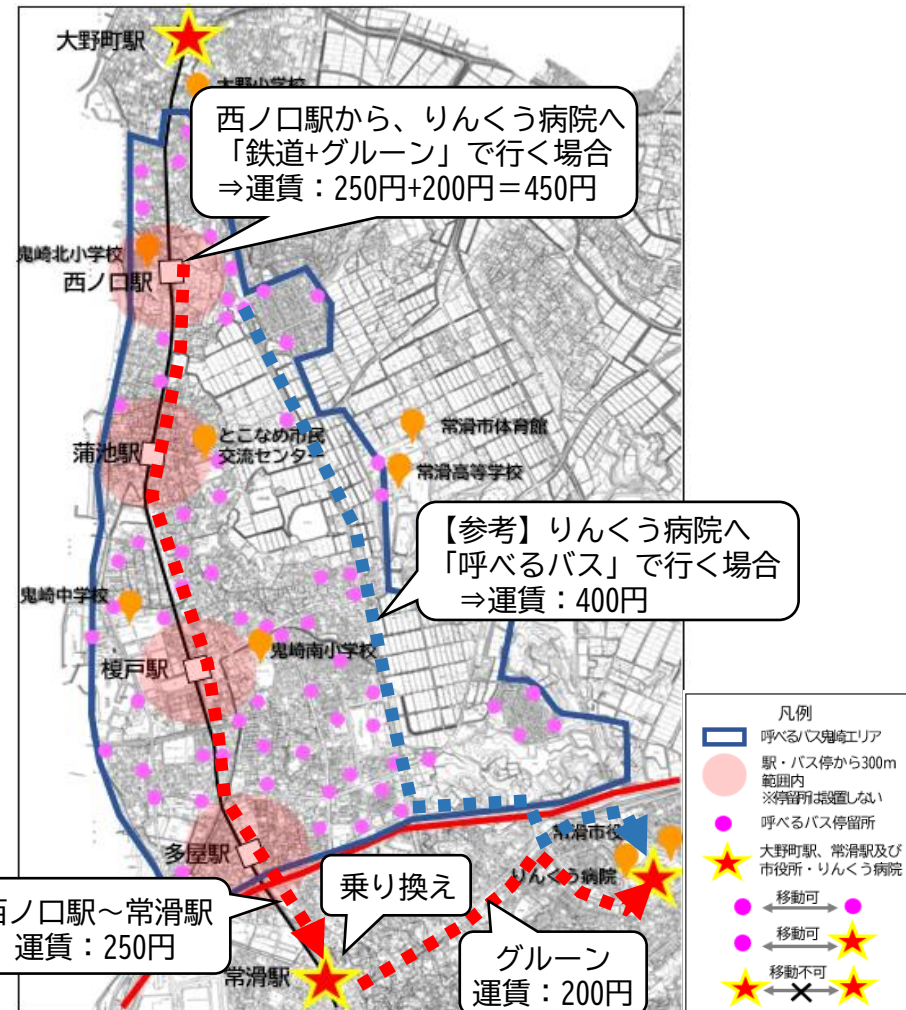
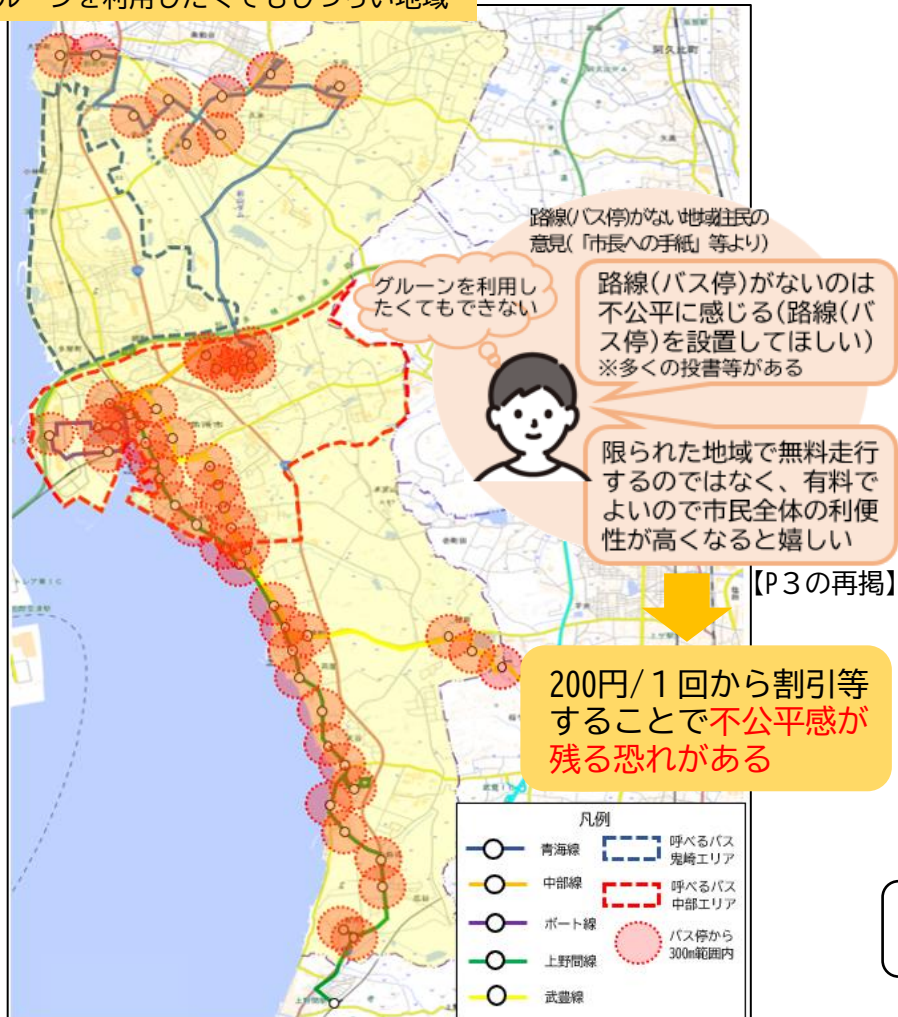
【参考：課題2の補足資料(イメージ)】

課題2：不公平感が残る

路線(バス停)がない地域の住民にとって不公平感が残る恐れがある

「鉄道+グルーン利用者」の不公平感が残る恐れがある

薄黄色のエリア：路線がないなど、グルーンを利用したくてもしづらい地域



運賃案の検討状況(つづき)

【11月市議会協議会での意見】

意見の内容

常滑を住みたいまちとして選んでいただくため、18歳以下を無料にしてほしい。

定期券についてスケールメリットを考慮した設定としてほしい。スケールメリットを持たせた方が収益は上がると思う。

定期券6000円は安いが子どもは家庭に直接負担がかかるが、通勤は企業負担となることから考慮してほしい。

【グルーン及び呼べるバスに関する運賃（案）の意見募集】

募集期間：令和7年12月1日～令和7年12月31日

グルーンに関する意見：14件（11名）

※ひとりの意見でも、複数の内容が記載されている場合はそれぞれ1件として計上。

意見の内容	件数
有料化自体に反対する意見	1件
運賃案が「高い」とする意見	2件
運賃案を「許容」する意見	3件
割引料金の設定に関する意見	4件
その他路線・ダイヤに関する意見	4件

※グルーンに関する意見の内容及び市の考え方についてはP6, 7参照

課題1：財政負担の増大

課題2：不公平感が残る

課題3：運転手の負担増等

上記課題を考慮しつつ、定期券についてスケールメリットが生じるように

金額：1か月6,000円、3か月17,100円、6か月32,400円

と設定することとした。

2 グルーン運賃の検討

【参考：パブリックコメント実施結果】

【グルーンに関する意見の内容及び市の考え方】

No.	意見の内容	市の考え方
1	運賃有料化の方針自体が法令上・行政法理上看過できない重大な瑕疵を有していることから運賃有料化方針の撤回又は再検討すべき。路線改編や減便等も検討しないで有料化を検討すべきではない。	コミュニティバスグルーン（以下「グルーン」という。）については、令和4年10月からポートレースとこなめがファンバスとして運行を開始しました。 その後、令和7年4月からポートレースとこなめによる運行を継続しないことが決まり、常滑市が令和7年度からグルーン事業を引き継ぐことになりました。 市が事業を引き継ぐに当たり、事業の持続可能性を高めるために路線改編等と合わせて運賃を有料化する方針について市議会への説明や市地域公共交通協議会で協議を行い、令和7年3月に運賃有料化の方針を決定しております。 また、公共交通に関する座談会等を開催し、運賃有料化について説明し、ご意見をいただきながら検討を進めるとともに路線の見直しやダイヤの見直しも協議・検討を進めており、運賃有料化と合わせて実施する予定でございます。 市としましては、運賃有料化の方針については「法令上・行政法理上の瑕疵はない」と考えており、今後、具体化に向けた検討を進めて参ります。 なお、市地域公共交通協議会でのこれまでの協議内容・結果につきましては市ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。
2	1乗車100円にしてほしい。	アンケート結果に基づき許容可能な金額の範囲の中で最も安く分かりやすい金額として1乗車200円と設定しております。利用者にとっては安ければ安い方が良いとは思いますが路線の維持や公平性の観点も考慮した上で設定しております。
3	常滑市民を割引、市外の利用者を増額する。 常滑市民100円、市外200円以上	公共交通の料金は、居住地での差別的な設定はできないこととなっております。 また、市民か市外の方が判別するためのシステム構築・維持に高額な費用を要することから設定しておりません。
4	小学生までを無料又は半額にしてほしい	市内にはグルーンが乗り入れていない地域があり、公平性の観点から年齢等での割引の設定はしておりません。
5	路線存続のため1乗車200円は妥当だと思う。 セントレアにも300円で走らせてほしい。	常滑駅からセントレアへは他の公共交通機関が運行していることから、現時点ではグルーンをセントレアへ接続する予定はありません。
6	利用者が減ることも考慮しての200円であるなら致し方ない。考慮していないなら100円で半年くらい利用状況をみてから改めて200円設定にしてはどうか。	運賃を有料化することで利用者が減少することも考慮して試算しており、アンケート結果に基づき許容可能な金額の範囲の中で最も安く分かりやすい金額として1乗車200円と設定しています。

2 グルーン運賃の検討

【参考：パブリックコメント実施結果】

【グルーンに関する意見の内容及び市の考え方（続き）】

No.	意見の内容	市の考え方
7	利用者負担は当然だと思います。 不公平感がなくなることが必要だと思います。 中部線について病院利用時間外のダイヤ削減も一考ではないか。運賃案に一部反対意見があるそうだが屈せず頑張してほしい。	ご意見として受取り、今後の取組みの参考とさせていただきます。
8	運用後の乗車率を精査し、減便、車両の縮小化により、費用を削減し、朝夕の便を増便する。 常滑南部・武豊線について常滑駅への到着時間を名鉄の「特急」に合わせてほしい。	ダイヤの作成に当たっては鉄道や他のバス路線等の接続を考慮しており、鉄道については常滑駅及び知多武豊駅の接続とグルーン全体での車両回しも考慮してダイヤを作成しております。
9	早朝は、学生の利用が多く、満席で乗っていない、もしくは乗れないことを恐れて別手段で移動している人がいると認識している。全線の乗車時間に対する乗車率を調べ、帰りだけ乗車賃を定期で払う人が出ないようにしてほしい。	定期券の販売に当たり、利用を希望する便への乗車を確約するものではない旨を明記して参ります。また、「積み残し」への対策につきましては、運賃有料化後の利用状況を踏まえて検討していきます。
10	頻繁にバスを利用する。あるいはバスを利用しなければ外出が難しい高齢者にこの定期券や回数券の価格設定は負担が大きいと老親が言うておりました。とはいえ完全無償化を続けるのが難しいのであれば後期高齢者の住民に対して月毎で無料回数券の配布、定期券の割引設定をしてほしい。	公共交通を日常的に利用されている方にとっては、年齢に関係なく公共交通がなくなれば生活に必要な移動手段を確保することが困難となります。今回の運賃有料化は、利用者（受益者）から一定のご負担をいただくことで公共交通サービスの持続性を高めるとともに、利用できない（利用しない）方との公平性を確保する観点から年齢等による割引は設定しておりません。定期券の金額については、200円区間の1か月定期券の額が民間バス事業者であれば9,000円相当であるところをグルーンでは6,000円と低い金額に設定しております。
11	1回200円は高いと思う。1回100円のワンコインが出しやすくていいと思います。 古場より南は武豊へ行くグルーンもあり、バスの本数が少なくなり不便を感じる。 令和8年4月からりんくう病院と総合医療センター間のシャトルバスが運休すると聞いた。常滑駅からりんくう病院経由、総合医療センター行きを作ったかどうか。	アンケート結果に基づき許容可能な金額の範囲の中で最も安く分かりやすい金額として1乗車200円と設定しております。利用者にとっては安ければ安い方が良いとは思いますが路線の維持や公平性の観点も考慮した上で設定しております。 通院用シャトルバスについては、今年度、運賃無料で試験運行しましたが利用状況が非常に低調のため令和8年度からは運行を休止することとなりました。グルーンを知多半島総合医療センターまで延伸することにつきましては、運行経費が増大することから実施する予定はありません。